学校番号	３１２

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	日本史Ｂ　新訂版　（実教出版）						
副教材等	図説　日本史通覧　（帝国書院） 日本史Ｂ　新訂版　演習ノート（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

政治・外交を軸に歴史の流れを理解し、経済・社会・文化などの各テーマの学習をすすめてください。
また、重要な人物や事象などの語句は、何度も反復して学習して確実に身につけてください。

２　学習の到達目標

①　現代史・原始～近世の学習を行う。
②　日本の政治史を中心軸に学習を進めるが、各時代の社会・経済、文化についても理解しその歴史的意義などを考えてみる。
③　必要に応じて、史料や図版・スライドなどを用いて、より理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・日本の歴史について追究する態度を示しているか。 ・積極的に資料や図を見て多くの知識を深めようとしているか。	・広い視野に立って多面的に考察しながら日本の歴史の流れをとらえ、現代日本社会の姿を理解しようとしているか。	・日本史に係わる諸資料を読み取り、効果的に活用しているか。 ・学習した成果を的確に表現できるか。	・日本史に関する基本的な事柄を理解し、その知識を身につけているか。
評価方法	定期考査 提出物 授業態度	定期考査 提出物 授業態度	定期考査 提出物 授業態度	定期考査 提出物 授業態度
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期中間	第二次世界大戦後の日本	・　占領下の日本 ・　高度経済成長の時代 ・　オイルショックと日本経済 ・　激動する世界と日本	○ ○ 	 ○ ○	 ○ ○	○ ○ 	a:戦後日本の政治・経済・外交について、関心を高め、意欲的に探求している。 b:戦後日本の政治・経済・外交について、現代の日本と関連づけてとらえ、多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:戦後日本の政治・経済・外交について、必要な史料を収集したり、まとめたりしている。 d:戦後日本の政治・経済・外交について、基本的な事柄を理解し、必要な知識をみにつけている。	定期考査 ワークシート
1学期末	日本文化のあけぼの	・　文化の始まり ・　農耕社会の成立 ・　古墳とヤマト政権	○ ○ 	○ ○	 ○ 	 ○	a 旧石器・縄文・弥生・古墳時代の社会や文化について、関心を高め、意欲的に探求している。 b:旧石器・縄文・弥生・古墳時代の社会や文化について、現代の日本と関連づけてとらえ、多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:旧石器・縄文・弥生・古墳時代の社会や文化について、必要な史料を収集したり、まとめたりしている。 d:旧石器・縄文・弥生・古墳時代の社会や文化について、基本的な事柄を理解し、必要な知識をみにつけている。	定期考査 ワークシート
2学期中間	古代国家の形成と展開	・　律令国家の形成 ・　貴族政治と宮廷社会 ・　古代の文化	 ○ ○	○ ○	○ 	 ○ 	a 律令国家や宮廷政治の成立や展開について、関心を高め、意欲的に探求している。 b:　律令国家や宮廷政治の成立や展開について、現代の日本と関連づけてとらえ、多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:　律令国家や宮廷政治の成立や展開について、必要な史料を収集したり、まとめたりしている。 d:　律令国家や宮廷政治の成立や展開について、基本的な事柄を理解し、必要な知識をみにつけている。	定期考査 ワークシート

2学期末	武家社会の成立	・　中世社会の成立 ・　武家社会の成長 ・　中世の文化	○	○ ○	 ○	 ○ ○	a 武家社会の成立過程や文化について、関心を高め、意欲的に探求している。 b:　武家社会の成立過程や文化について、現代の日本と関連づけてとらえ、多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:　武家社会の成立過程や文化について、必要な史料を収集したり、まとめたりしている。 d:　武家社会の成立過程や文化について、基本的な事柄を理解し、必要な知識をみにつけている。	定期考査 ワークシート
3学期	武家政権の発展	・　幕藩体制の確立 ・　幕藩体制の展開 ・　幕藩体制の動揺 ・　近世の文化	○ ○	 ○ ○	 ○ ○	○ ○	a 武家政権が完成する過程や庶民の生活・文化について、関心を高め、意欲的に探求している。 b:　武家政権が完成する過程や庶民の生活・文化について、現代の日本と関連づけてとらえ、多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:　武家政権が完成する過程や庶民の生活・文化について、必要な史料を収集したり、まとめたりしている。 d:　武家政権が完成する過程や庶民の生活・文化について、基本的な事柄を理解し、必要な知識をみにつけている。	定期考査 ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。